

令和5年度「世界肝炎デー」・「肝臓週間」における取組について

1 要旨・目的

世界保健機関（WHO）は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を『世界肝炎デー』と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱している。

わが国でも7月28日を「日本肝炎デー」と定め、7月28日を含む月曜日から日曜日までの1週間を「肝臓週間」とし、全ての方に対して、肝炎に関する正しい知識の普及啓発に取り組むこととしており、本県においても肝臓週間にあわせた啓発キャンペーンを実施する。

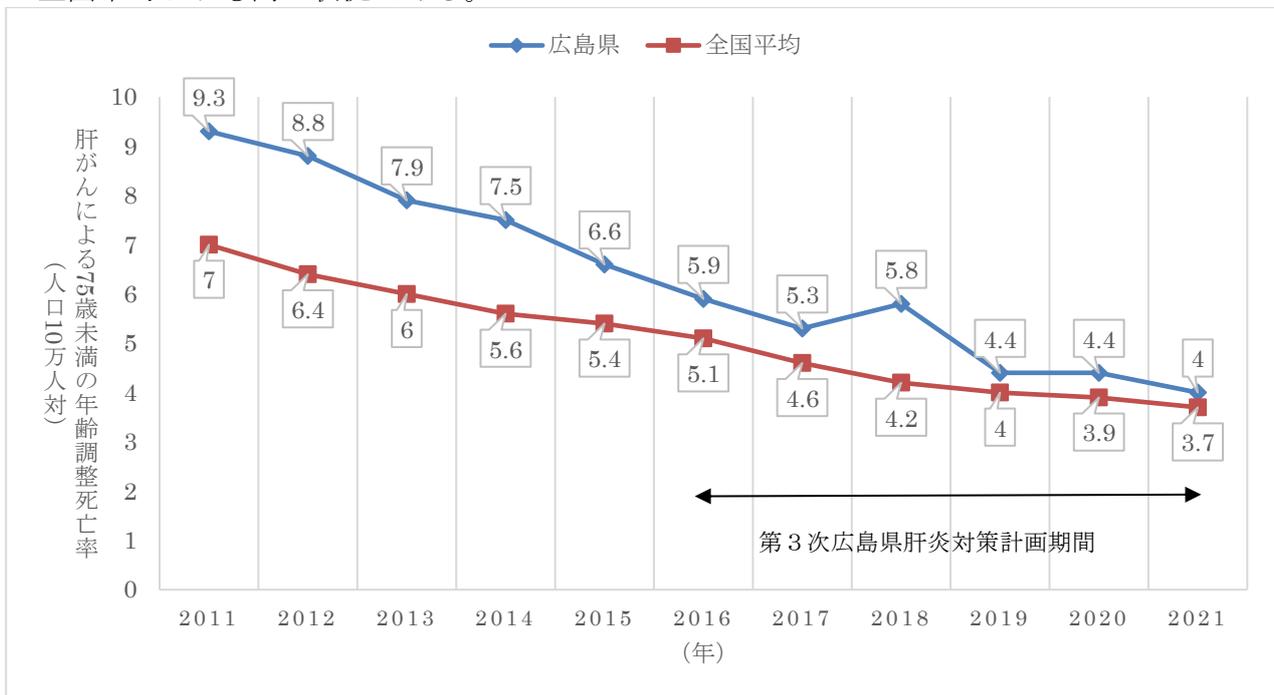
2 現状・背景

広島県では、B型肝炎ウイルスキャリアが推定約4万人、C型肝炎ウイルスキャリアが推定約2万2千人と言われている。

また、肝炎ウイルス検査を受けたことがある者の割合はB型で57.6%、C型で46.8%であり、全国（B型：71.0%、C型で61.6%）よりも低い状況である。（令和4年度 広島県 県民アンケート調査）

肝がんの大半はB型及びC型肝炎ウイルスの持続感染が原因であることが分かっている一方で、感染後の自覚症状があまりないため、感染していることに気づきにくく、感染したことが分かっているにもかかわらず、精密検査を受けていない場合がある。

グラフのとおり、広島県の肝がん75歳未満年齢調整死亡率は年々減少しているが、未だに全国平均よりも高い状況である。



出典：国立がん研究センター
がん対策情報センター
がん統計都道府県比較

参考：令和3年肝がんの75歳未満
年齢調整死亡率
広島県 4.0 全国 3.7

肝がんになることや病状が悪化することを防ぐためには、B型・C型肝炎ウイルスに感染していることを早期に発見し、早期に治療を行うことが大切である。

3 概要

(1) 対象者

広島県に住む全ての人

(2) 実施内容

ア 7月28日肝炎デー当日は、厚生労働省の肝炎総合対策のマスコットキャラクターがプリントされたシャツを着て勤務

イ 県内2か所で、啓発資材を配布し、肝炎ウイルス検査の受検勧奨や肝炎に関する正しい知識を普及啓発する街頭キャンペーンを実施

(ア) 福山駅南口（広島県福山市三之丸町30—1）

日時：令和5年7月27日（木）17時30分から18時30分

(イ) 広島駅北口（広島県広島市南区松原町5）

日時：令和5年7月29日（土）10時から11時

ウ 県内2か所で、治療と仕事の両立支援について、職域における肝炎対策研修会を開催

(ア) 福山市民病院2階講堂（広島県福山市蔵王町5—23—1）

日時：令和5年7月27日（木）14時30分から16時30分

(イ) 広島県健康福祉センター大研修室（広島県広島市南区皆実町1—6—29）

日時：令和5年7月29日（土）14時から16時

(3) スケジュール

令和5年7月24日（月）から令和5年7月30日（日）まで

(4) 予算（国庫1/2）

102千円

4 その他

ひろしま肝疾患コーディネーター*所属機関においても、肝臓週間にあわせた普及啓発活動を実施する。

※ ひろしま肝疾患コーディネーター

肝炎患者や肝炎ウイルス検査陽性者等が適切な肝炎医療や支援を受けられるように、医療機関、行政機関その他の地域や職域の関係者の橋渡しを行い、肝炎ウイルス検査の受検、検査陽性者の早期の受診、肝炎患者の継続的な受療が促進され、行政機関や医療機関によるフォローアップが円滑に行われることを基本的な役割とした人材。広島県主催の講習会を受講し、知事が認定しており、全国トップクラスの認定数である。（令和5年3月末現在 1,720名認定）昨年度の取り組みの詳細については、県ホームページに掲載している。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kanenshinsei/hepaday.html>